



# 那須大学ニュース

Vol.13

平成16年3月12日(金)発行  
発行/那須大学 広報委員会

# 卒業生を送る

那須大学学長 須賀 英之

歳歳年年人不同一人は、自らの信念に基づいて萤雪の功を積み、心身ともに成長して、人生の節目ごとに古い巣を後にする。人は、いつとも留まることなく、よりゆたかな生活を求める「時の旅人」。

ご卒業おめでとうございます。那須大学を卒立つ第2期生の皆さん、本学で身につけた知識や情報、そして教職員や学友とのキャンパスライフをかけがえのない人生の糧として、新たな一歩を踏み出します。輝かしい21世紀にあって、自由と平和を希求し、この世でたった一人の価値ある存在として活躍してください。心より祈念しています。

皆さんを取り巻く社会情勢は、経済、政治、国際関係等どの面においても現在、安穏とはしていません。しかし、このような状況だからこそ、自らの優れた個性や特性を生かして活躍できるフィールドが、目の前に広がっているとも言えます。そのためにも、たゆまぬ

自己研鑽を積まなくてはなりません。

卒業生の皆さん一人一人の秘めたパワーと人間性は、第1期生に統いて96%を超える進路決定率(就職内定・進学)という立派な数字で社会的に証明されています。これは、一般学生はもとより、社会人学生の仕事と両立させた努力、留学生の旺盛な向学心などの結晶ではないでしょうか。これは那須大学の誇りであり、伝統や学風の礎となることに違いありません。

これからは人間としての尊厳を心に、また、本学の卒業生としての自信と誇りを胸に、将来に向けて大きく羽ばたいていただきたいと思います。

## サークル紹介・11 只今会員募集中! 柔道同好会



習に励んでいる。時に、萩原君の高校時代の先輩が指導にきてくれるのこと。自前の練習場がないこと、そして会員が少ないと困り解決すべき課題だそうだ。柔道を通してアジアの留学生と交流を図ることができる、また柔道の修身を習得することによって事故などの際に衝撃を和らげることができる、など効果をアピールして会員を増やそうとする意欲がインタビューを通じて伝わってきた。

活動を始めてからまだ8ヶ月のできたてのサークルである。設立のきっかけは、キャブテンの萩原直人君(1年・写真正面)が高校時代の経験を活かそうと皆に呼びかけたのが始まりである。

会員は現在3名。黒磯市武道館で週2回練



(深澤ゼミ工場見学・日産自動車板木工場にて)

(文と写真:広報委員会)

私のゼミはこんなゼミ・11

### 深澤ゼミ

深澤 郁喜教授



私の専門が経営学なので、経営を学びたい学生が集まっている。経営理論をテキスト中心で学んだり、新聞や雑誌などの経営関係の記事を読んで、自分の考え方や意見をまとめて、それを発表したり議論をするようにしている。机上の理論だけではなく、工場の見学を行ない経営の現場を実見したり、そこで実務に携わっている管理者の方の説明を聞いたりして、現場で捕捉出来なかった情報を聞き出したり、理論と実践との関わりを学んでいる。

印刷媒体や視覚情報から意思決定に必要な情報を選択・収集し、事実関係を分析して、自分の考えを纏めて、皆の前で発表するということが出来るようになることを第一の目途としている。こうしたことを通じて、マネジメント・マインドが磨かれていくことが希である。授業や工場見学等で質問や議論が盛り上がったときは若い情熱の発露に触れた思いがする。そんな瞬間は学生たちと一緒にいる慶びを体感する。



Check!

## 16年3月卒業予定者 那須大学就職および進学内定速報

(3月7日現在)

就職活動や大学院進学に向けて那須大学は果敢に挑戦し、1期生に引き続き立派な成果を上げています。ここに、2期生の現在の主な就職・進学先を速報いたします。

### 就職: 内定率96%・105社

(以下は主な企業名、順不同)

|         |                                      |
|---------|--------------------------------------|
| ● 公務員   | 黒磯市役所 西那須野町役場 黒磯那須消防組合 自衛官           |
| ● 建設業   | トヨタウッドユーホーム 栃木ミサワホーム 夢ハウス            |
| ● 不動産業  | 日神不動産 スターツ 東光マンションセンター 東都            |
| ● 百貨店   | イーアールエーヤバーン トラストファイブ 興大 一宮興産         |
| ● 量販店   | 東武宇都宮百貨店 ユニー ベイシア                    |
| ● 小売業   | イトーヨーカ堂 ヨークベニマル たいらや北関東              |
| ● ホテル業  | ジョイフル本田 ヨドバシカメラ マツモトキヨシ ハヤブサドットコム    |
| ● 飲食業   | たけうち カキヌマ 大成社 みのり グロリア 南ヶ丘牧場         |
| ● 自動車販売 | ホテルオークラ東京 ホテルニュー塩原 サンパレー那須           |
| ● 金融    | 元気寿司 坂東太郎                            |
| ● リース   | ネットヨタ板木 板木スバル自動車 板木トヨペット トヨタビスタ板木    |
| ● 製造業   | 福島トヨタ自動車                             |
| ● 運輸業   | 足利銀行 北辰物産 サンキャピタルマネージメント 日本交易        |
| ● 専門商社  | トヨタレンタリース板木 トヨタエルアンドエフ板木 ハーマン カセツリース |
| ● J A   | エスフーズ イートランド 日本栄養給食協会 大日本バックス 下野印刷   |
| ● 情報処理  | 宝栄工業 大和冷機工業 マルゼン ヨシ電子                |
| ● 医療    | 大坂屋運送                                |
| ● 人材派遣  | 東邦薬品 小川畜産食品 アラマキ                     |

※1月13日文部科学省発表による学生就職内定率(全国 平成15年12月1日現在) 大学生73.5%

※1月23日下野新聞社発表による学生就職内定率(県内 平成15年12月1日現在) 大学生58.5%

### 進学: 合格者10名

|             |   |
|-------------|---|
| ● 宇都宮大学大学院  | 農学研究科 生物生産科学専攻 1名                       |
| ● 中央大学大学院   | 経済学研究科 國際経済学専攻 1名                       |
| ● 神奈川大学大学院  | 経済学研究科 國際経営専攻 1名                        |
| ● 日本大学大学院   | 国際関係研究科 国際関係研究専攻 1名                     |
| ● 桜美林大学大学院  | 国際学研究科 国際関係専攻 2名                        |
| ● 宇都宮大学大学院  | 国際学研究科 国際社会研究専攻 1名                      |
| ● 東京農工大学大学院 | 農学研究科 共生持続社会学専攻 2名(国際教育協力研究1名、環境公法研究1名) |
| ● 筑波大学大学院   | 地域研究研究科 日本語研究コース 1名                     |



羽田沼公園

はんだぬまこうえん

この地域にこんな真近で沢山の野生の鳥を見ることができる場所があるとは驚きでした。「長者ヶ池」の名でも知られているこの公園は、大田原市の北端、大田原芦野線の練習交差点からほど近い所にあります。毎年10月末頃になると約百羽の白鳥がシベリアから飛来し、千数百羽のカモと一緒に翌年の3月まで一冬を過ごすそうです。公園は平成5年に完成し、地域住民の憩いの場となっている

だけではなく、広く関東一円から訪れる多くの人々にも人気があります。人が近づいても鳥達はまったく逃げようとしません。また、岸辺に上がって寝ている白鳥すらいます。愛護会の人たちによる日頃の活動の賜物と思いますが、自然の中に溶けこんだかのように感じられる、とにかくゆったりと過ごせる場所です。ぜひ御自分の目でどうぞ。

(文と写真:広報委員会)

那須大学ではこんな科目を学ぶ⑬



## 「情報リテラシー」で、一步先の情報処理を考える

(データ管理)

浜田 利満教授

那須大学では情報処理科目を「コンピュータリテラシー」ではなく、「情報リテラシー」と捉え、カリキュラムを構成している。すなわち、コンピュータを上手に使いこなすことではなく、世の中に際限なく溢れている情報から如何に有効な情報を取り出すか、得られた情報から如何に意思決定をするかのリテラシーの習得を目指している。とはいっても、大学で初めてコンピュータに接する学生も少なくないので、1年次にはいわゆる「コンピュータリテラシー」の学習を徹底して行い、2年次から「情報リテラシー」に入る。「情報処理応用I(データ管理)」では、はじめにデータ検索の演習を行い、データ検索の難しさ、目的成就の喜びを体験することでデータの重要性を習得する。次いで、データベースの基礎をMicrosoft Accessにより学ぶ。対象とするデータは都市経済学の一分野である不動産とし、Accessの基本的な操作を学ぶとともに、不動産データを如何に整理していくかを体験する。講義の最終段階では、Accessとデータ整理の知見にもとづき、学生自らが所属するゼミのデータベースをまとめ、レポートとして提出する。本講義ではデータベースによりデータ整理が効率よく実施でき、データ活用の迅速化の実現につながるかを体験、習得することに重きを置いている。

「情報リテラシー」で、一步先の情報処理を考える

# LOOK BACK on 2003 Academic Year



1年を振り返って

この1年を振り返る

## 都市経済学と一流ホテルのコンシェルジュ

大久保 忠且 学部長

那須大学都市経済学部として初めての卒業生を送り出してから、早くも1年が過ぎました。間もなく第2期生の卒業式を迎えるとしています。この1年を振り返りますと、大学にとって、もっとも喜ばしいことは、就職希望の学生のほとんどが着実に就職できること、また大学院進学希望の学生も、いくつかの国立大、私立大の大学院に合格できることです。第1期生の就職率98%に続き、第2期生も95%を超えていました。新聞社の週刊誌が調べた大学生の2003年度就職率全国順位では、栃木県では那須大学ただ1校が主要356校中8位という上位にランクされました（サンデー毎日、2004.1.4-11）。これは、学生のがんばりはもちろんのことですが、就職支援を担当した教員（就職委員会）と事務局を中心として、那須大学の職員全員がこの4年間、大変な努力を払ってきた成果だといえます。

いま、学問の世界では、21世紀は感性の時代（文系）とか生物学の時代（理系）であると言われます。いずれも、20世紀に大きく発展した石油産業中心の経済や生命工学技術（バイオテクノロジー）が豊かさをもたらした一方で、その大発展のさいに切り捨ててきたものの価値を見直さなければ、人類の未来が危ない、という危機感を表す言葉です。都市経済学も、今までの経済学が無視し切り捨ててきた問題を扱う学問、と言っても良いでしょう。生物学の中心も、いわば生物物質学から生物生活へと移ろうとしています。

すこし飛躍した言い方をしますが、ヨーロッパの一流ホテルのコンシェルジュ（来客接待責任者）が具えているような感知能力、理解力を、那須大学の学生諸君は身に付けてほしいと、私は思っています。一流ホテルのコンシェルジュは、来客を一目見て、一言話すだけで来客が期待していることを把握し、すぐにその期待に沿うように手配するそうです。そのホテルが成功する否かは、そのコンシェルジュの感性面の能力だと思います（日本の老舗の旅館でも同じでしょう。福祉の場合なら介護士と介護を受ける人の関係にもあてはまります）。

1970年代から現在まで哲学者たちが論じてきた上述の危機感は、私の講義でもときどき話題にしていますが、その見直すべき〈演劇的知、場の思想〉や〈身体感覚〉とは、このコンシェルジュのような感性面の能力を意味するともいえます。その能力を育てるための教育方法やカリキュラムをどうするか、これからも皆さんとともに考えていきたいと思っています。



黒磯公園晩翠橋 岡田昌康 絵  
旧国道4号線が黒磯公園の那珂川を跨いでいる晩翠橋。先日土木学会から「景観名橋」の一つに選ばれた。

VOICE

### 活躍するOBの声

●根岸邦行さん（黒磯市役所税務課勤務）

根岸さんは、昨年3月に第一期生として本学を卒業され、現在の勤務先に就職しました。ご本人を職場に訪ね、社会人一年目の様子をお聞きするとともに後輩諸君への貴重なアドバイスをいただきました。

まず、市民税係に配属され、覚えなければならないことが沢山あり、毎日が緊張の連続だったようです。また、市役所の仕事は法律に基づいて進めなければならず、その分責任の重さを感じられ大変でした、との事。大学での勉学生生活を振り返ってみると、コンピュータの授業は現在の職務に大いに役立っているそうです。後輩の皆さんに対しては、「学生時代にこんなことを勉強しても役に立つんだろうか」と疑問に感じたものが、実社会に出た現在大変役に立っていることに驚いています。どこで何が役に立つかわかりませんからなんでも勉強しておいて下さい」との事でした。

（文と写真・広報委員会）



VOICE

### 4年生の声

●石崎之敬君

希望していた会計事務所への就職が決りました。学生生活の多くの時間をそのために費やすきましたが、ようやく職業会計人への道の入口に立つこととなりました。

●山井由久君

那須大学での生活は、様々な経験を積むことのできた4年間でした。この経験を活かし、社会人になんでも頑張りたいと思います。

●佐々木貴宏君

自然、地球環境、生物などを学ぶゼミで勉強してきました。ゼミの先生の御指導のお陰で、本学での都市経済学の勉強をさらに発展させて自然系の分野を大学院で学ぶことが可能になりました。

VOICE

### 3年生の声

●中野登喜男さん（社会人学生）

仕事を学業も充実した1年間でした。国と地方の役割、市町村合併、少子高齢化、情報化等、重要な問題を興味深く受講できました。

●室井仁一郎さん（社会人学生）

これまで那須大学の資格サポート制度を活用し、資格試験に気軽に挑戦することができました。販売士2、3級とシアドの資格取得はその成果です。今後も様々な資格に挑戦したいと思っています。

VOICE

### 2年生の声

●佐藤輝幸君

1年次に比べて2年次の本年度はより幅広い分野の科目を習得することができ、充実した一年だった。今年は余暇を利用して旅行にも行きたい。

●曹峰（そうそう）さん（中国・留学生）

今年は日本語にも大分慣れ、より日本の文化や人の考え方に対する理解が深まりました。特に、学生同士の先輩・後輩の間で後輩から先輩に対し丁寧語が使われていることには驚きました。中国では、近い年齢の人の間ではそうした習慣はありません。

VOICE

### 1年生の声

●氏家春奈さん

初めての大学生活は緊張して失敗が多かった。これを教訓とし、これらの学生生活に活かしていくうと思います。

●小川直樹君

日本語に堪能で優秀な多くの留学生と交流し、とても刺激を受けた一年間でした。お陰で、一部取つき難い科目はあったが、思ったような勉学生活ができたように思えます。



## 平成15年度の主な行事

|              |              |              |          |                           |              |                            |                            |                   |          |              |            |
|--------------|--------------|--------------|----------|---------------------------|--------------|----------------------------|----------------------------|-------------------|----------|--------------|------------|
| 4月           | 5月           | 6月           | 7月       | 8月                        | 9月           | 10月                        | 11月                        | 12月               | 1月       | 2月           | 3月         |
| 第一回公務員試験対策講座 | 第二回公務員試験対策講座 | 第三回オーブンキャンパス | 前期試験成績発表 | 第2回オーブンキャンパス 3年生インターミッション | 第1回公務員試験対策講座 | 就職ガイダンス（自己分析・エントリーシートの書き方） | 就職ガイダンス（就職の心構え・前期未試験・夏期休業） | 後期授業開始・黒磯市民開放講座開始 | 第1回指定校入試 | 創立記念日・公募推薦入試 | 大学センター試験実施 |

A.O.-指定校入試受付開始 第1回オーブンキャンパス2003那須大学シンポジウム開催  
本学入試説明会・進学相談会始まる  
交通安全講習会・進学相談会始まる  
前期授業開始（新入生より新カリキュラムへ移行）  
入学式・オリエンテーション・健康診断  
第一回公務員試験対策講座

### 晩夏の青木邸

岡田昌康 絵

黒磯市の道の駅「明治の森」にある旧青木邸の水彩画。2003年9月に描いたもの。明治の青木外務大臣の別邸。当時は馬に乗って鹿狩り等を楽しんだと言う。現在は保存指定を受け見学者を受け入れている。当時の生活が良く見えて感じられる。



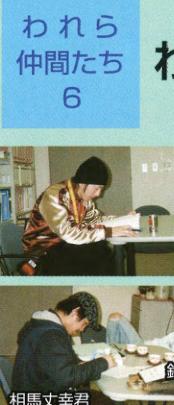
## 本年度退職される先生方

開学時から共にキャンパスで教育、研究に携わってごられた次の3先生が3月で御退職になります。  
御世話になりました。

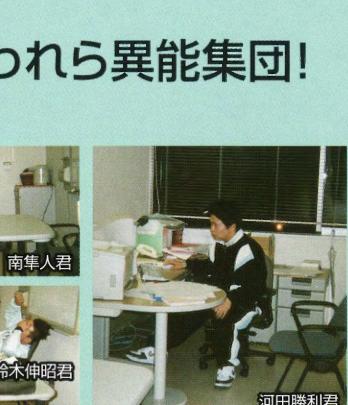
- 岡田昌康 教授（情報分野担当、2・3頁の挿絵を提供）
- 赤澤とし子 講師（経済学分野担当）
- 木塚恵子 講師（英語分野担当）



われら仲間たち  
6



南隼人君



鈴木伸昭君  
河田勝利君

## われら異能集団！

明日はいよいよ卒論提出日。自分の視点で、自分の問題意識に正面から取り組み、卒論提出日を明日に迎える彼ら。観光地という地域的特異性が塩原町のごみ行政に及ぼす構造的問題に取り組んだ南隼人君。消防行政に携わっていくことが決定した相馬丈幸君は、地震災害に取り組んでいく行政のあり方を研究し、広い視点から消

防行政を考える糸口をつかんだようである。故郷郡山を愛する鈴木伸昭君は、郡山の発展を彼独自の観点で切り込んであるべき未来の郡山像を模索した。河田勝利君は、青少年の問題行動を犯罪心理の面から分析し、警察行政に新たな視点を加えようとした。

“集中と分散”。彼らの行動パターンはいつもこれだった。日頃はよく遊ぶが、一旦思い立つと集中して物事を成し遂げ、いろんな方向にゼミを引っ張っていた。就職活動したり、卒論しかり、軟式テニスでインターハイに出場したという、南隼人君と相馬丈幸君。彼らは、中学校以来、別々の学校を代表するライバル同士。柔道で関東大会に出場した河田勝利君。水泳で東北大会6位入賞した鈴木伸昭君。なんだ。“集中と分散”というのは、スポーツマンらしい彼らのいつもの行動パターンだったのか――。

（文と写真・ゼミ担当教員 和田左英子助教授）